

# 会 議 録

会議の名称	平成 26 年度 第 3 回 中野市総合計画審議会
日 時	平成 27 年 3 月 23 日 (月) 15 : 00 ~ 16 : 25
会 場	市役所 31・32 号会議室
出席者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出席委員 : 20 名 青木幸子、高橋幸造、丸山富雄、小林貴三子、原田孝男、大内ふじ子、小林弥生、樋口美代子、高木幹男、田尻茂子、岡村郁子、吉家公代、宮腰みどり、原沢健一、山田彰一、青木久隆、脇田綱雄、佐藤美紗、田中功、中村幹夫</li> <li>・ 欠席委員 : 4 名 小林佐吉、高木尚史、阿藤博文、北原新一</li> <li>・ 市出席 : 13 名 総務部長、健康福祉部長、子ども部長、くらしと文化部長、経済部長、建設水道部長、消防部長、豊田支所長、教育次長、議会事務局長、政策情報課長、政策情報課長補佐、担当</li> <li>・ 支援業者 : 2 名</li> <li>・ 傍聴者 : 0 名</li> <li>・ 報道機関 : 0 名</li> </ul>
次第	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 会議事項 (1) 現総合計画の総括について 《資料 1、資料 2》</p> <p>4 その他 次回開催予定 平成 27 年 5 月</p> <p>5 閉 会</p>
発言内容	別紙のとおり

会議状況



【別紙】

平成 26 年度 第 3 回 中野市総合計画審議会

平成 27 年 3 月 23 日 (月)

15 : 00 ~ 16 : 25

市役所 31・32 号会議室

1. 開会 (15 : 00)

事務局	<p>定刻になりましたので、ただ今から「第 3 回中野市総合計画審議会」を開会いたします。</p> <p>私は、総務部長の大堀和男と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>ただ今の出席委員数は、24 名中 20 名であります。</p> <p>中野市総合計画審議会条例第 5 条第 2 項の規定により会議は成立しております。</p> <p>なお、本日、小林佐吉委員、高木尚史委員、阿藤博文委員、北原新一委員の以上 4 名の委員さんから欠席のご連絡を頂戴しておりますので、ご了承をお願いします。</p> <p>それでは、開会にあたりまして、山田会長からごあいさつをいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
-----	--

2. あいさつ (会長)

山田会長	<p>皆様方には、大変ご多用の中、第 3 回中野市総合計画審議会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>だいぶ暖かくなってまいりましたが、まだ今朝も雪も舞うような、北信州は冬から脱しきれない状況であります。大変お忙しい中、慎重なご審議を頂戴したいと思っております。</p> <p>昨年の 9 月に行われました第 1 回の審議会では、第 2 次総合計画の策定方針などの説明をいただきまして、1 月に行われました第 2 回の審議会では、基礎調査とアンケート結果の説明を頂きました。</p> <p>本日は、現中野市総合計画の総括について説明を頂くことになっております。第 2 次の総合計画策定にあたりまして、総括は重要だと思っておりますので、皆さんから活発なご意見を頂戴したいと思っております。</p> <p>皆様方のご意見が、これからの総合計画の中に反映されると思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>なお、任期の切れる代表の方もおられると思いますが、次回以降、お代りになれる方は、よろしく引継ぎいただいたうえで、次の方にご出席いただくようお願いしまして、簡単でございますが、ご挨拶とさせていただきます。</p> <p>今日は、ありがとうございます。</p>
------	---

### 3. 会議事項

#### (1) 現総合計画の総括について 《資料1、資料2》

・資料1、資料2に基づき政策情報課長から一括説明

山田会長	1章から4章までについて、ご質問、ご意見ございますか。
委員	15頁の「市民と連携した防災・危機管理対策の徹底」の中で下のほうにある「指標の達成状況」の中に「救命率」というのがあるのですが、これはどういう指標といたしますか、何を示しているのでしょうか。
消防部長	消防部長の伊東でございます。 この「救命率」というのは、心肺停止状態の方が、心臓が再開して、俗にいう生き返ったという表現はおかしいですが、心臓、呼吸が再開したその率を「救命率」と呼んでおります。
委員	3頁の人口ということでお話がありました。国でも日本の人口がうんと減るということは毎回言われています。その中で私が一番気にしたいことは、病院に入院し寝ていたり、そのような人たちも含めての人口ですけれども、私が知りたいのは健康な人、達者な人がこういう数値として下降線になっているのか、健康な人だけをみれば逆にフラットで平らでいくのか、その辺をお聞きしたいのですがわかりますか。 我が家庭において94歳の母が私より達者で、朝から起きてご飯作り全部やっているのです。ところが私の同級生とかとお話すると中村さんいいね、よくやっている。なぜかといううちなんて二人とも具合悪くてもうやっぱりいろんなところ行って、夜も二人きりで困るから顔を出さなくちゃいけない。それが現状です。中野市では逆に、高齢化でもみんな一人でも達者に生きている。私もそういうところに行って一緒に住みたいというそんな話も出ると思う。なぜ達者なのかというデータも今後必要ではないかと思えます。 すぐに出なくてもいいのですが、是非そんなことも踏まえて、人口傾向など入れていただければ、たいへんうれしいと思っています。
健康福祉部長	健康福祉部長の渡辺です。 いわゆるお元気な方の人口ということでございますが、実は統計的な手法がありません。ちなみに介護で申しますと、要介護3以上の方、要介護3、4、5と、これらの皆様でいきますと現時点では約700人を少し超えるぐらいの人数だろうと思っています。そうした方々については、毎年度少しずつ増えてきているという状況は考えられますので、かたや人口減少の中、かたや少しずつ増えているという状況かと思えます。これからのことも含めて動向についてはそれ以上のものを把握していなくて申し訳ございませんが、現状についてはこんな状況でございます。

山田会長	他になければ、5章から7章まででお願いします。
委員	62頁5-2ですが、観光客入込数とか、その観光消費額。この入込数というのは土人形資料館とか晋平記念館とかそういうところのトータルということではないのですか。それと観光消費額、これも教えていただきたいと思います。
経済部長	経済部長の小林でございます。 入込数に関しましては、委員さんがおっしゃられたように、それぞれいろいろなエリアが中野市内にございます。具体的にいきますと、例えば土人形資料館があります東山エリアですとか、豊田地域の高野辰之記念館のあるエリアですとか、そういった一つひとつのエリアを捉えております。手元に個々のエリアを申し上げる資料を持ち合わせておりませんから申し上げられませんが、確か市内6つか7つのエリアを持っておりまして、それをそれぞれ推計させていただいて数字を出しているということでございます。それに準じてその観光消費額も推計しているということでございます。
委員	J A関係は入っていないのか。オランチェとかいきいき館とかということはどうなのですか。
経済部長	具体的な積み上げはしておりませんが、エリアの一つとして意識してカウントはしております。
委員	今の関係で具体的にお聞きしたいのですけれども、62頁の観光ガイドの育成ってありますね。私もバラのガイドしているのですけれども、具体的にこういうのが実際に行われているのかということと、もう一つ私がいつも思うことは、「中心市街地」ということがよく出ています。これは地図上でみたらここかなあと感じするのですが、現状でみますとこれは、総括の関係は28年ともう1年ありますけれども、果たして、中心市街地活性化ということが大変疑問に思っているのですよ。いろんな形で、いろんな整備とか書いてありまけれども、これに対して具体的に市の方の考えがありましたらお聞きしたいと思います。
経済部長	まず、観光ガイドの育成の関係でございます。これは観光協会できろいろとやっています。人数的にはそれほど沢山いらっしゃるわけではありませんが、お願いして対応していただいたり、また、講習会といいますか、研修的な制度もやっています。新年度以降、さらにそれを拡充していただきたいということで先般の予算等も認めていただいたところでございます。 それから中心市街地という考え方でございますけれども、いわゆる旧、町のエリアというのは私どもの市の捉え方としております。

山田会長	他にないようでしたら、総括的に全体で、何かございますでしょうか。
委員	50 頁にあります自動車交通騒音等実態調査とか自動車騒音常時監視調査、これはどのような地域で行われているのでしょうか。
くらしと文化部長	くらしと文化部長の竹内と申します。 交通騒音等実態調査につきましては、大きな道路に面しています住宅街のところで調査を行っているものでございまして、騒音常時監視調査につきましては、その道路の脇のところで毎年箇所を決定して調査をしているものでございます。
委員	それは毎年違う場所で行われることなのですね。
くらしと文化部長	はい、毎年変えております。
委員	それから、51 頁の担当課のコメントの中に BOD 値が 2 mg/l 以下とあるのですが、BOD 値というのはどういうものなのですか。
くらしと文化部長	BOD につきましては、生物化学的酸素要求量を示した値でございます。
委員	資料 2 に、見ていただくと分かると思いますけども、平成 28 年までに達成という形でしているところもありますけれども、未達成というのが非常に多い。多いというか、数字的に私は大変難しいと思います。基にしたものに対して 28 年にはこうしたいという資料。火災とか私もいろいろと携わっていますからこれというのは大変難しい。しかも放火とかそういうのが減るのは難しいと思うのですが、市として、この未達成に対してはどのような総括するか、どういう考え方があるのですか。
消防部長	火災につきましては、無火災というふうに目標を設定してありますけども、なかなか無火災になるのは難しい状況でございます。ただ火災を出さないように、消防団と協力して毎月 7 日市民防火の日ということで広報させていただいたり、空気が乾燥するような状況の時に、「火のもとに注意をしてください。」という広報をしたり、そんな活動をしながら無火災を目指しております。救急のほうも目標達成からはどうしても未達成になっておりますけども、これにつきましても、救急車が到着するまでの過程の中で、倒れた人がいたらすぐ応急措置をしてくれるような救急講習。それから私どもの救命士の技術の向上、研修の向上。それから医療機関の充実と、そういう救命のサークルが順調に回れば救命率が達成できるものかというふうに考えております。

<p>総務部長</p>	<p>今、資料2のお尋ねで一番右のほうに、達成が◎、状況は上向いているけれども未達成とか、逆に目標値に向かって状況が下がってしまっているというようなことがございますが、あくまでも、これは今までの総合計画の中で、ここまでの状況をお示ししたものであって、これから策定いたします新たな総合計画のほうにこの状況を特に反映をしまして、計画策定に生かしていきたいということでございます。ですから、状況をそのままに出ささせていただいて。ただ、当時の指標の設定の仕方そのものが、もう少し違う指標でも良かったのかと思うところもありますけれども、いずれにいたしましても、当時これが基準年を17年としまして28年の目標値、これに対して今こんな状況でありますということを詳らかに皆さんにお示しをさせていただいて、その上でみなさんのご意見をいただきながら、新しい総合計画のほうに反映させていただく。そんなふうを考えておりますので、この総括は現在の状況そのままというふうにお受け取りいただきたいと思いますが、よろしく申し上げます。</p>
<p>委員</p>	<p>4頁のところですか、図の上の「なお、……」のところ、推計値よりも早く人口減少及び少子高齢化が進んでいるということで、より一層人口減少対策と少子高齢化対策が急務であるという総括をしていただいているわけです。今、地方創生の総合戦略をまた考えていく上なのですけども、その一方で満足度と重要度のクロス分析でいくと、子育てがBランクにあるということで、一番中野市としてのウリになっているような気がするわけです。にもかかわらず人口減少が進んでいると、少子化が進んでいるという中で、その37頁のところに第3章の総括があるんですけども、一番下に、さらに少子化・人口減少問題を解決するため「子育てするなら中野市」となるようにということで、出産・子育て環境の充実ということなんですけども、これを早期に実現する必要があるということ。十分、子育てがBランクにある中で、出産・子育て環境の充実というのは、いったい何をイメージしているのかということをお聞きしたい。</p>
<p>健康福祉部長</p>	<p>出産・子育て環境ということですが、産みやすく育てやすいという環境の整備ということで、女性の健康、そして子育て環境ということで、新年度で申し上げますとHPV検査の新たな導入ですとか、保育の環境の充実ですとか、総合的なところの中から全体の底上げができればと考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>この前、アンケート調査の結果をいただいた中で、個人の意見がありました。それをつぶさに読ませていただいたら、除雪が間に合わなくて勤務に間に合わなかった。勤めを休んだという方の大勢の意見がありました。それをどのように捉えていますか。住み良い、住んで良かった中野市ということなんですけど、それでも住んで良かったのでしょうか。と思いますが、どうですか。</p>

建設水道部長	<p>建設水道部長の小林と申します。</p> <p>私どもの方へも区長さん方からそういった話があったり、直接電話がきたりしています。毎年、除雪をされる業者さんと除雪会議というものを開いているわけですが、その時、そういった事を話をしながらやってきているわけですが、これまでも、子どもたちの通学、それから通勤に間に合うようにということの前提で動いていたものですから、さまざまな業務形態があるということにまだ追いついていない部分がございます。そういったことにつきましては、次年度の除雪会議等には何とか反映した形で業者さんに伝えていきたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。</p>
委員	<p>今の関係で、今後に生かすということをお願いしたいことは、雪が降るのはいいのですが、歩道に点字ブロックありますよね。ところが雪が降ると全部消えているのですよね。その辺で、いつも矛盾を感じるの。作ることは否定しないが、作った以上は、目の不自由な人たちも暮らしやすくなるような状況を踏まえて早目をお願いしたいと思います。私も目の見えない人とお付き合いをしてるんですけども、色々と話をしていると、そんな話も聞こえてきますので、是非、そこの優先度をお願いしたい。</p>
山田会長	<p>要望ということでお聞きしておいてよろしいですね。ではそういうことでよろしく申し上げます。</p>
委員	<p>提言をお願いしたいのですけども。総括につきましては、各分野のことについて総括いただきまして、大変資料としてはまとまったもので良かったと思いますが、今後2次の総合計画を立てる上で、人口は自然減だからしょうがないという形ではなくて、中野市は普通でいけばこう減っていくのだけれども、中野市だけは、人口も増えたり、あるいはその活力がある地域づくりで成功した部類になるような形を考えていくには、いろいろ戦略的に考えていかないとダメだと思うのです。総括はこれとして、2次に進むときに、新しく戦略を考える上で、ただ市の職員の皆さんだけで練り上げるのではなくて、この審議会に出す前に民間の有識者、それぞれの分野である程度理解のある方、活躍されている皆さんの知恵も借りて、戦略的なものをお願いしたいものだと思います。要望ということをお願いしたいと思います。</p>
政策情報課長	<p>日本中で人口減少については、悩んでいるわけですが、皆さんご存知の国から戦略を作れという中で、「人口ビジョンをしっかりと作りなさい。」と言われております。中野市も来年度の前半から秋口に向けて戦略を作らなくてはいけないのですが、その中では今いったような、ある程度知識のある、またいろんな数字をもっている業者の方も入れて分かりやすい数字で、具体的に言えば国で言っている合計特殊出生率を上げなければ自然動態は上がらないの</p>



	<p>で、目標を国と合わせるかどうかはこれからですが、今 1.5 ぐらいの出生率を国は 1.8、2.0 に上げるような目標を国は立てております。そこら辺が中野市としてもいいのかどうかということも含めて、目標を作って、それに向けてみんな、できることをやっていくということを考えていきたいと思ひます。</p>
委員	<p>市長さんもよく言われている新幹線を利用して観光がどうのこうのという中で、豊田地域には高野辰之資料館もありますし、色々な部分で飯山駅を利用した観光など、この中では直接、観光の部分で新幹線の部分は出てきてないわけですが、62 頁の下のほうに観光客の来市による交流人口の増加とかさまざまなことが書いてありますが、豊田地域においては飯山線の駅が 2 つほどありますが、上今井駅は特に通勤客が多くて中野市以外、飯綱町ですか、とかそういう方が、それから立ヶ花駅においてはいわゆる豊野、長野市の方が大勢利用されているかと思ひます。そういう利用量、また飯山線を利用して替佐から降りてこられる観光客、なかなか難しいとは思ひますが、そんな把握をしながら、また長野電鉄で長野から観光客の方がおいでになるかと思ひますので、そういう調査は難しいと思ひますが、交流人口の増加を最終的には本市の経済活動に資する仕組みを構築しますという部分では、そんな調査ができるとすればそれも活用して中野市の知名度がよりアップできるような観光対策ができればいいかと思ひます。前向きにそんなことも考えていただければありがたいと思ひます。</p>
経済部長	<p>個々の駅での乗降客が観光でおいでになったかどうかという調査はしておりません。トータル的な乗降客については、交通関係で確か把握はしていると思ひます。具体的な答えでなくて恐縮です。</p>
委員	<p>3 頁の人口と世帯数の関係ですが、人口は確かに減っておりますが、世帯数が増えている。私ども身近な所でも、宅地造成がされて、非常に建築ラッシュで家が出来てきています。今年発表された数字では、逆に空き家率が増えてきて、今日本での平均ですが、7 軒の 1 軒に空き家になってきたという話もあるのですが、中野市に空き家はどれくらいあるか把握されていたらお聞きしたい。それからその空き家を利用して人口増加の施策を講じれば、中野市も人口は下がっていかなくて、横ばい又は上向きともっていければという考えであります。そのところをお願いしたいのですが。</p>
政策情報課長	<p>空き家の関係ですけれど、本当の実態というのは分かりません。いろいろ報道されている中でも言われていますけれど、統計調査では住宅土地統計調査というのは、行われるのですけれど、これは全数調査でなくて抽出調査になります。ですから全国でやったときには、あるエリア、中野市だったら 2 か所ぐらいがあたるのですけれど、そのエリアの中で空き家がどのくらいとか、どういう家族構成とかという調査をやります。それを国で吸い上げて、調査した中では全</p>

	<p>体の 20%ぐらい空いているとか、という発表がされるのです。その程度のもので、何割ぐらい、何棟ぐらい空き家になっているかは、それは調査してみないと分からないのですけど、今のところそういう調査はありません。ですから、あっても今いった中野市には建物が何棟ぐらいあって、国でいっている全体の何割ぐらい、何%ぐらいが空き家だというふうにいわれた場合には、それを掛けて、要はだいたいこのぐらいだろうという推計値はいえるのですけれど、実際の実数値は把握していない、ということでもあります。それからそれを活用していくということでもありますけれど、皆さんもご存知だと思いますけれど、空き家バンクというのを始めています。空いているお宅を有効利用するために市のほうで宅建協会さんの協力を得ながら、もし売るなり、貸したりする人を探すに当たって、都会の方にもその物件を紹介したいという方を募集して、その方の物件を宅建協会の皆さんに調査をしてもらって、だいたいいくらぐらいというのを、数字をはじいていただいて、行政がホームページで都会の皆さん向けに、こういう物件がありますからどうぞ、という制度を今始めているところでもありますけれど、なかなか皆さんのほうからその物件が出てこない、というのが実態であります。今後、国のほうでも空き家対策を重点的に進めるとい方向もありますので、そういう施策がどうなるか見極めながら、とりあえず中野市とすれば今空いている空き家を貸してもいいよ、という方については、是非その市でやっている空き家バンクのほうに登録していただいて、有効活用が図ればよいと思っていますとろであります。</p>
<p>委員</p>	<p>ただ、問題は、空き家バンクへ登録される親族がいればいいのですが、私の身近なところでも、絶えてしまって誰もいなくなっているようなところもあるわけですね。法律的に難しいものがあるから、国でも空き家対策特別措置法とかいろいろのことを考えておられるようですが、動向をみながら、放っておいて倒壊して事故が起きたとかそういうことがないように考えていただければというお願いです。</p>
<p>委員</p>	<p>先日、若者のワークショップの発表を聞かせていただきました。高校生のご意見とか久しぶりに若い人たちのお話を聞かせていただいて、夢の話がだいぶ出まして良かったと私は思っている。是非これを第2次で生かすようお願いしたいと思っています。せっかく皆さんがやっていただいたものですから、また、途中で行政はこうだけど、あなた達はどうかみたいな会を開いていただければと思います。それともう一つは、中野市のイメージはどうかということ。一つは選挙の投票率です。投票率が中野市はあまりよくないですね。選挙は、誰でも行けますのでお金はかからないんです。そんな中で中野市は逆にいうと100%であるというような、逆の宣伝が私は逆にいえると思う。そういうことは、チラシ配ったりいろんなことをやっていますが、なかなか上がらない。アイドルを使ったりしているのですけどそれでも上がらない。そういう中において、中野市は選挙をやると 100%。そういうような、それにはどうするかというこ</p>

	<p>とを考えていただきたいというのが一つ。それと、もう一つはゴミの問題。中野市の中にはいっぱいあるんですね。これも金はかからないんです。だから歩いていてもゴミがない、中野市に入るとゴミのゴの字もないような観点からこういう方向性を是非出していただければ本当に中野市のイメージが沸くと思うのです。私は音楽をやっていますので、色んな所に行って話をしても、中野市はどこですかっていてもなかなか知りませんし、地図を持って行ってここだっていても長野県は広いから分からない。そういう中で中野市の宣伝で一番楽なのは、中山晋平さんと高野辰之さん、それと久石譲さんの話をするのでほしい人は分かります。そういうインパクトがあるものがあると思うのです。それをどうやって広めるかっていうことを整理していただいてやっていただければ嬉しいです。特に若者ワークショップ。アイドルみたいなものを作りたいとか市長も言っていますけれど、そんなことを是非生かしていただければ嬉しいと思っています。</p>
山田会長	<p>今日、若者会議のプレゼン大会が6時からここで公開でやりますので、是非、ご都合がつかましたら。</p>
委員	<p>要望ですが、今後総合計画を作成するわけですが、観光においては主な取組みということだけでなく、観光面の課題を考えて総合計画の作成をしていただきたいという要望です。よろしくお願ひします。観光の課題について考えていただきたいと思います。</p>
委員	<p>62頁の「戦略的な観光・交流産業のブランドづくり」のところで、先ほど観光客の入込数という話がありましたが、エリアごとに集計して合計しているという話だったと思いますが、どこかのエリアが極端に観光客の数が減っているとか、どこかは例年どおりの数を推移しているけど他が減ってきているからだんだん減ってきているとか、中野市全体の数じゃなくてエリアごとの統計とかそういうことはあるのでしょうか。</p>
経済部長	<p>あります。県で取りまとめていただいているのですが、当然報告はそれぞれ市町村が、例えば間山地区のぼんぼこ温泉の数字を踏まえたりしまして、あのエリアはだいたい年間どのくらい来ている。先ほど申し上げましたように東山の土人形資料館を中心としてあのエリアは、全員の方が土人形資料館へ必ず行っているかどうかは別として、東山の一つの観光したい地域ですから、そういったところに大体どのくらい来ているか、ということで毎年推計している中では中心となる、例えば間山温泉ですとか、土人形資料館ですとか、そういったものの傾向を踏まえていただきたい推計してきているところがございます。そういったことで毎年エリアごとの数字は出しております。それで減ってきているのは、今申し上げた施設なんかも残念ながら減少しておりますから、そういったことで減少傾向の推計をさせていただいているということがございます。</p>

委員	それで、その観光客の数が例年と同じで、あまり減らないでいるエリアもあるのでしょうか。それともやっぱり全体的にも同じような感じで減ってきているのでしょうか。
経済部長	誠に申し訳ございません。今、具体的な個々の数字、地域ごとのエリアごとの数字を持ち合わせてございませんから、もしお許しをいただけるのであれば別の機会にこれまでの傾向といたしますか、掴んでいるデータについてはお話できます。
委員	その辺のデータを見たほうが、なんとなく対策もとりやすいかと思ったので。参考になればと思うのでよろしくお願いします。

4 その他 次回開催予定 平成 27 年 5 月  
(基本構想(素案)の諮問、審議を予定)

5 閉 会 (16 : 25)